

■活動報告

||各キャンパスITC・ITC本部報告||

【三田キャンパス（三田ITC）】

三田キャンパスは文系4学部6研究科、通信教育部ほか諸研究所等多くの教育・研究組織があると共に義塾の中心的キャンパスでもあるため、全キャンパスから多種多様な学生、教員、研究員が訪れることも多い。このため国内外の拠点をネットワークで結んだ遠隔講義・会議・イベント等が年間100回以上行われる等、PC教室等の運営、教育・研究環境での学生・教員への支援のほか、多種多様な情報環境利用に対するニーズへの対応が求められている。

2009～2011年度の期間中、三田キャンパスにおいて学生向けのPC設備等の面で最も影響が大きかったのは150年事業による南校舎建替え工事に伴う一連の対応であった。南校舎の建て替え工事は2009年度に開始され、学生ラウンジに設置していたパソコンPC84台を撤去する必要が生じた。これらのPCはキャンパスの出入り口に近い便利な位置にあったことと、三田キャンパスでは学生がいつでも自由に利用できるPC設置数が十分でないこと等の理由により非常に利用度が高い施設であった。そのため、新校舎が竣工し、新たなPCラウンジが開設されるまでの工事期間中の代替施設を用意する必要に迫られたが、狭隘な三田キャンパスにおいては全数を代替する施設を用意することは非常に困難であった。そこで東館の2、3階に臨時のPCエリア（34台）を開設し、321教室を分割使用とし321B教室（23台）を自由開放することで補ったが、70%弱を用意できたに留まった。残りの部分は学生用貸出PCの増台（30台）によって、数的な面での自習環境の確保を図ったが、この間学生にはかなりの不便をかけることになった。この問題については2011年3月に南校舎が竣工し、西側部分の1、2階にPCラウンジが新設され1階82台、2階121台の合計203台という旧南校舎学生ラウンジ設置数の約2.5倍規模の台数を自習用環境として整備・開放することによって解消できた。また数的に十分な数を確保できたことにより、教室の出入り口付近で環境的に余り望ましくなかった第一校舎2階のPCエリア（26台）を廃止することも可能となった。この他、南校舎が竣工したことで工事期間中に校舎として使用していた南別館に様々な組織が移転することになり、その引越しに伴うネットワーク工事・設定関係の業務が非常に多かったことも特徴である。

PC教室については、大学院校舎3階にあった旧LL教室2室（335（34台）、336教室（36台））をPC教室化し、小規模PC教室2室を増設した。これにより、ゼミ等の演習におけるPC利用環境が大幅に向上することになった。また、2011年12月にITC本部が大学院校舎に移転することとなり、331教室（83台）が移転先となったため、その代替施設として311（67台）、314（24台）の2教室が用意された。そこで夏季休業期間中にこれらに対するPC教室化の工事を行い、311教室については2011年秋学期から稼働を開始した。314教室については2011年度中予備教室とし、2012年度より本稼働を開始する予定である。

光ケーブル等の配線設備についてはかなりの部分が20世紀末から21世紀初頭にかけて整備を行ったものであるため、旧式化したもの、老朽化や痛みが著しくなって来たものも多くなった。そこで棟間光ケーブル等の引き直しや情報コンセントの補修を2009年度から年次計画で進め、2011年度で再整備が必要と思えたものの更新がほぼ終了した。これと併せ2005年度に設置した南館のネットワーク機器更新も2009年度に行い、棟間ネットワークの高速化と安定化を図った。無線LAN設備については、2001～2002年当時に整備した旧式なアクセスポイントをイベント等複数の要求に対応できる集中管理可能なものなどへの交換を2008年度から行い、2010年度に完了した。この他、増え続けるサーバ類について見直しを行い、順次仮想化環境への移行を行うことによって効率的な運用と消費電力の削減を行ってきた。

三田・日吉（矢上）・信濃町キャンパスの共通アカウントとして構築したITCアカウントについては、2010年度秋学期からテスト運用を行い、2011年度から本運用を始めた。三田キャンパス

では2011年度中に卒業する学生が利用者の大半を占めたため、従来の三田ITC情報ネットワークアカウント体系での運用をメインに行いつつ、ITCアカウントとの併用運用を実施し、2012年度に完全切替えを行うこととした。一方、教員に対するサービスとしては三田キャンパス所属の専任教員に対して貸与PC制度を実施しており、標準環境を提供すると共にその利用支援のためのヘルプデスクを設け支援に当たっている。2011年度はこれらの機器更新時期に当たっていたが、諸般の事情により2012年度に延期した。

2011年3月の東日本大震災での施設・機器等の被害は三田ITCでは幸い皆無であり、また計画停電地区にもならなかったが、その後の節電体制への協力のため、サーバ類やPC室の縮退運用を行った。

三田キャンパスでは南校舎竣工とそれに伴う諸施設の移動を以って施設再整備は一区切りを迎えた。今後はこれの効果的利用と共にバックグラウンドの異なる多様な教員・学生等が集うキャンパスの情報環境施設に相応しい対応が求められると考えられる。

【日吉ITC（日吉キャンパス）】

日吉キャンパスは、文学部、医学部、薬学部の1学年、経済学部、法学部、商学部、理工学部の1、2学年、および大学院経営管理研究科、システムデザイン・マネジメント研究科、メディアデザイン研究科が設置され、10,000名以上の塾生が教育研究活動や学生生活等でPCやネットワーク等の情報環境を利用している。また、体育研究所や保健管理センター本部等の研究所・付属施設も多数設置されており、様々な形の情報基盤整備が行われている。

学部教育においては情報処理関係の授業が多数設置されており、学生数も多いため約1,000台のPCをキャンパス内に設置し、実習や自学自習等幅広い利用を可能としている。また、学生へのノートPCの貸出や有線（情報コンセント、一部教室）並びに無線でのネットワーク接続サービスも併せて実施しており、形にとらわれない情報基盤利用環境を提供している。

2009年4月には、多数の教室を有する独立館が創立150年記念事業により建設され利用が開始された。独立館には、PC教室（2室）や有線・無線ネットワーク利用環境が整備され、多くの学生に利用されている。

2010年秋学期には、三田・信濃町・矢上（理工学）と合同で4キャンパスITCの教育研究用システムを統合するITCシステムの運用が開始された。当初は、秋学期入学者から利用が開始され、2011年4月からは、教職員、学生全員へ提供がされている。ITCシステムは、ITCアカウントの発行を受けることにより利用が可能となり、従来からの日吉ITC情報ネットワークアカウントの利用を2012年3月までとして、2011年度は両アカウントの利用を可能とすることにより、ITCシステムへの移行を推進した。なお、2011年度の新入生からは、ITCアカウントのみを発行している。

2011年3月に発生した東日本大震災では地震直後に日吉キャンパス全域が停電し、当日夜に通電されたものの、計画停電によりその後も数回停電した。日吉ITCでは、主となる機器室には無停電電源装置とディーゼル発電機が整備されており直後の停電はせずに済んだが、震災当日は停電が長時間に及んだことから燃料の問題により最終的に全ての機器を停止させた。また、その後の節電への対応として、冗長構成の解除による一部機器の停止やPC室、事務室等の減灯、PC室の一部閉室等を実施した。

日吉キャンパスでは毎年4月に7学部の学生約6,000名が入学するため、ガイダンス期に日吉ITC、日吉学生部、日吉メディアセンター、外国語教育センターと共同でネットワーク活用ガイダンスを学部新生全員に対して実施している。このガイダンスでは、キャンパス内設置PCや慶應義塾共通認証システムの利用案内等に加えて、2010年度から著作権やファイル共有ソフトウェア利用注意等の啓蒙を実施している。また、学生からの情報基盤利用に対する質問や設置機器障害に迅速に対応するため、日吉ITCコンサルタント（学生アルバイト）をPC教室等に配置しこれらのサポートを行っている。

教員に対しては、学部研究室向けにPCの貸与、Webページ作成やコンテンツのデジタル化などのサポートを行うIT活用支援を実施して活発に利用されている。

多くの一年生から先端的研究を行う大学院まで様々な利用者が存在する日吉キャンパスでは、多様な情報基盤を提供し、利用者に合った各種サービスを今後も安定的に実施していくことが必要とされている。

【信濃町ITC（信濃町キャンパス）】

信濃町キャンパスは、医学部・病院の構造改革に基づきキャンパス全体の再整備事業が行われています。また、2017年には医学部創立100周年を迎えます。

2009年度は、別館が取り壊された跡地に3号館（北棟）の建築が始まりました。この建物は医学教育・研究と臨床との有機的な連携を目指して建設されるため、ネットワーク整備について広範な関係部署との調整も開始されました。また、今後のキャンパス再整備事業をにらんで信濃町ITCが行うキャンパス全体のネットワーク基盤再整備の一環として、総合医科学研究棟と新棟の間に新たに光幹線の敷設を行いました。この年キャンパス間ネットワークは、9月に三田-信濃町間の回線が10Gbpsの帯域に増強され、加えて矢上-信濃町間の10Gbpsの回線が新たに開設されました。これは、ITCシステムの統合化などにより統合ストレージが三田と日吉に置かれることになり、キャンパス間ネットワークの帯域増強と耐障害性向上が必要となったための措置です。

キャンパスの中に話を戻すと、統合印刷システムの置換えにより設置プリンタがすべてモノクロ・カラー両用機になり、認証付き無線LAN接続サービスのサービスエリア拡大と本運用が開始されました。

2010年度は、5月から新たに始まる薬学部5年生の病院実務実習に対応するため、新たに小型の貸し出し用パソコン25台の増設や第2校舎4階の薬学部実習室のネットワーク整備ならびに統合印刷システムプリンタの増設を行いました。また、孝養舎内の認証付無線LAN接続サービスのサービスエリア拡大、夏には孝養舎4階403・404連結教室設置の127台、信濃町メディアセンター1階閲覧室内設置の22台、予防医学校舎地下1階設置の9台、学生貸し出し用の100台のクライアントパソコンの老朽化・陳腐化に伴う置換えを行いました。

10月にはキャンパス隣接地に新たに取得した北別館のネットワーク整備を行いました。2011年1月には3号館（北棟）が竣工し、部署移転が開始される2月までの期間に光幹線ならびに棟内のネットワーク配線工事を行いました。その後部署の移転に合わせて室内の工事を行っていましたが、3月11日の東日本大震災の発生により移転は大幅に遅れることになりました。奇しくも、筆者は地震発生時に3号館（北棟）の1階ノード室で配線作業を行っていましたが、交通機関が麻痺し、嘱託職員とともに国道246号線をひたすら歩き、多摩川に架かる橋を徒歩で渡り横浜市まで帰ったことをここに記録として残そうと思います。

2011年度は、震災の余波から始まりました。さいわい病院があることで輪番停電とは無縁でしたが、パソコン室の間引き開室や短縮開室、くわえて節電は徹底しておこないませんでした。また、前年度から続いている3号館（北棟）への部署移転に合わせたネットワーク工事は4月いっぱい続きました。その後ただちに3号館（南棟）のネットワーク整備へ向けた調整を開始しました。薬学部5年生の病院実務実習も2年目となり新たに6年生若干名を対象とした病院アドバンス実習も始まりました。

この年はITCのシステムが画期的な変化を遂げました。三田、日吉、信濃町、理工学の4キャンパスITCの統合化された「ITCシステム」の本格運用が始まったのです。これは、認証機構の一元化、リモートログインサーバの共通化ならびに三田と日吉に置かれた統合ストレージを各キャンパスのクライアントパソコンが利用するというものです。統合ストレージ構想は過去に何度も出ていたのですが、ネットワークの制約により実現できていませんでした。今回はネットワークの広帯域化の恩恵を大いに受けて実現されたのです。信濃町ITCとしては今後、ストレージやリモートログインサーバを整備する必要がなくなるため人的な面を含めコスト削減となりま

す。年度末に向けて終息するシステムに付随するメールやWebのサービス終了に向けた準備を行いました。また、3月から医学部のメールサービスの運用管理を受託しました。

夏には慶應情報スーパーハイウェイ第5期（KISH5）整備の一環としてキャンパスネットワークの更新を行いました。また、新教育研究棟5階自習室B設置の24台、授業時教卓用および留学生対応貸し出し用の15台の老朽化・陳腐化に伴う更新を行った。特に電力事情に配慮し、新教育研究棟5階自習室B設置のパソコンについては、デスクトップ型からノートブック型への変更を行いました。

ITCの体制にも大きな変化がもたらされました。6月には学校法人系業務用ネットワークADSTのヘルプデスクを開設するため新たに委託職員の1名増員を行いました。2月には、北里記念図書館棟の地下1階から北別館1、4階へ事務室の移転を行い、念願の地上進出を果たしました。

【理工学ITC（矢上キャンパス）】

矢上キャンパスは理工学部（11学科）・理工学研究科（3専攻）が設置されており、多数の研究装置等が稼働している他、ネットワークや計算資源に対する多種多様な要求への対応が必要なキャンパスである。

2009年度には、春学期に14棟B101、B102、B103、B107および12棟109に設置している全440台のワークステーションの更新を行い、夏期にはこれら教育用ワークステーションのバックエンドにあたるファイルサーバを始めとする各種サーバ群の更新を行った。

各学科などのサーバについては、ホスティングサービスへの収容を推進し、利用者の管理コスト低減とセキュリティ向上を図った。

ソフトウェア利用面においては、矢上キャンパスのセキュリティ強化のため、アンチウイルスソフトの導入を基本サービスとすることを理工学部との共同事業とし、数量的な制限をせず申請ベースでの配布を開始した。この他、矢上キャンパスで特に利用の多いMATLAB/Simulinkを各キャンパスの協力でサイトライセンス化した。

また、この年から始まった矢上キャンパス施設設備の再整備計画工事の一環として、14棟4～7階の改修工事を行った。これは今後数年に渡り継続される建築工事や移転の第一段階となるものである。

2010年度秋学期には、三田・日吉・信濃町・矢上を統合するITCシステムが運用開始し、理工学ITCのワークステーションもこれに対応すべく整備を行った。

3月にはキャンパス全域の無線LANインフラの更新を行い、IEEE802.11b/g/n（一部で802.11aも）規格への対応や電波強度増大等サービス向上の他、集中管理による運用コスト低減も実現した。また、キャンパス施設設備再整備計画の一環としては、36棟の改修工事を行った。

この時に東日本大震災が発生したのだが、理工学ITCでは以前より主要なサーバやネットワーク機器を設置している部屋の電源設備を堅牢に設計しており、またほぼ全ての機能が集約している14棟はコジェネ系統に切り替わるため、停電の影響を受けることなく基幹機能を維持することが可能であった。この後の節電計画にあたり、前年度に導入していた機器室電力監視設備が思わぬ役に立つこととなった。

2011年度年には、ワークステーション室を利用する授業の増加に対応するため11棟11番教室をワークステーション室に改修し、春学期から運用を開始した。

各種のサービス拡大を進めていく中、終了したサービスもある。かつてはキャンパスネットワークへの接続に必須だったダイヤルアップ接続サービスはインターネットの普及により役目を終え、4月に停止となった。また計算機の性能向上や価格低下により共用資源としてのハイパフォーマンスコンピュータは利用者数が減少したため、5月をもってサービス終了となった。

夏期にはネットワークインフラであるKISH5の整備があった。矢上ではITC管轄のネットワーク機器全台が更新対象となる大規模な作業であり、基幹部分の可用性向上や末端全域までの

1Gbps対応等さまざまな懸案事項の改善を実現した。

10月からは、前年度に整備したインフラ上に新認証方式による無線LAN接続サービスを試験導入し、これまで要望の多かったスマートフォン等のデバイスでも利用が可能となった。

2月にはテクノロジーセンター棟が竣工し、このネットワーク工事や居室・機器類の移転に対するサポートを行う他、ITC機器室間及び23・24・25・26棟各階のシングルモード光ファイバ敷設工事や日吉・矢上間光ファイバ敷設工事を行い、キャンパス内インフラの整備を推進した。

今後は2013年度末竣工予定の新33・34棟（仮称）他、キャンパス再整備計画に合わせて各種の展開を進めていくこととなる。

【湘南藤沢ITC（湘南藤沢キャンパス）】

湘南藤沢キャンパス（SFC）は神奈川県藤沢市にあり、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の3学部と、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科の大学院2研究科が設置されている。広大な敷地は自然と先端技術が調和する未来型キャンパスをコンセプトとしており、約5,000人の塾生が教育研究活動や学生生活のさまざまな場面において、高度なキャンパスネットワークシステムを駆使しており、湘南藤沢ITCは情報インフラの維持・管理、およびネットワークサービスにおけるさまざまな支援を行っている。

2009年度は、基幹となるネットワーク機器の更新や、全学生用のファイルサーバをはじめとした各種サーバ機器の更新を実施しており、ネットワークの高速化やファイル空間の大容量化が図られた。一部領域はユーザによるバックアップからの復元機能などのサービスも導入された。また、機器構成においては冗長化を図るなど、耐障害性の向上にも配慮した。

2010年度には、ノートパソコンに加えスマートフォンやタブレット端末など、Wi-Fiネットワークに常時接続されるデバイスが急速に増えたことから、当年度に計画されていた無線LAN設備の更新において、機器の高度化を図るとともに、利用者が多く集まる屋外エリアもカバーできるようアクセスポイント数も大幅に増強している。また、教職員向けのファイルサーバや看護医療学部校舎のネットワーク機器を更新している。

2011年度、湘南藤沢キャンパスは2011年3月に発生した東日本大震災により、計画停電による電力供給制限を最も多く受けた。システムの停止・稼働には多くの時間を要することから、停電時間を含めると長時間のサービス停止を余儀なくされることとなった。3月末までの間に8回の計画停電が実施され、補助電源設備からの給電盤も急遽設置された。

また、湘南藤沢キャンパスのキャンパスネットワーク（SFC-CNS）のユーザ向けに、UQコミュニケーションズ社の提供するモバイルWiMAX網を利用し、キャンパスネットワークへシームレスに接続できるサービスを、SFC-Flatプランとして提供を開始した。これにより、当該サービスの加入者は、日本全国のUQ-WiMAXサービスエリアにいれば、キャンパスネットワークのIPアドレスが割り当てられることにより、キャンパス内にいる時と同じネットワークサービスを受けることができるようになる。

湘南藤沢キャンパスは、信濃町キャンパスで実習を行う看護医療学部、健康マネジメント研究科を除き、殆どの学生が入学から卒業までをこのキャンパスで学ぶことから、新入生を迎えるところから卒業生を送り出すところまで、一貫して学生を育む唯一のキャンパスである。学生と教員が一体となって進める教育研究活動を最先端のテクノロジーが支えている。SFC-CNSが提供する情報インフラは、高度で安定した生活基盤であり続けなければならない。

【芝共立ITC（芝共立キャンパス）】

2008年4月に共立薬科大学から慶應義塾大学薬学部としてスタートした芝共立キャンパスだが、2008年度の時点では旧環境を移行するということが主な作業となり、他キャンパスとの連携まではなかなか整備が間に合わない状況であった。2009年度から2011年度においては芝共立キャン

ンパスの独自のサービスと慶應全体のサービスとのバランスを考え、他キャンパスの環境へ近づくことを意識し整備を行ってきた。

2009年度は、法人合併後で既存のサービスを安定的に提供することが主な業務となっており、なかなか新規の整備に着手することが困難な状況であった。しかし、年度末には学生が利用できるパソコン台数が少ないことからメディアセンターのレイアウト変更に合わせて、芝共立キャンパスに初めて自習専用のオープンエリアを構築し、サービスを開始した。名称をPCエリアとし、ノートPC 8台、オンデマンドNWプリンタを1台導入し、授業で利用するパソコン教室と同等の作業が可能な環境を整えた。それと同時にメディアセンター内に無線LANのアクセスポイント設置も行い、メディアセンター内で持ち込みPCの無線LAN利用ができるような環境整備も行った。自習用エリアの確保はできたが、一方で授業用のパソコン室において、同時限の利用希望があったため、片方の授業の时限をずらしてもらうという事象が発生した。そのような背景から授業用のパソコン室を増やしたいと考えていたが、キャンパス内での場所の確保が難しいという状況もあり授業用の貸出パソコンの導入の検討を行った。そして2010年度には授業や実習単位で利用可能なノートパソコンの貸出サービスを開始し、授業用PC室の不足を補うサービスを展開した。また、唯一の授業教室であるMMPC室の配線が100Mbpsまでしかサポートされていない旧規格のものであったため、高速化していくネットワークに対応するため、配線を新しい規格のものに変更を行った。また、ハードディスクのデータを磁気的に破壊する機器を導入し、不用となったデータディスクを安全に処分するためのサービスも開始した。

2011年度は、他地区と同時にKISH5 (Keio Information Super Highway 5) として基幹ネットワーク機器の更新作業を行った。いままでは三田キャンパスのみとの接続であったネットワーク構成が、信濃町キャンパスとも接続を行い、バックアップラインが確保できたことで経路の冗長化がなされた。また三田キャンパスと芝共立キャンパスを結ぶ回線は10Gbpsとなり、今後の他キャンパスとの連携のためのインフラが整いつつある状況となった。その整備に伴い、今までは末端のネットワークについては基本的に100Mbpsでの接続であったが、全ての情報コンセントにおいて1Gbpsの接続に変更となった。また認証用のネットワークを安全に芝共立キャンパスにも構築できるようになった。2011年12月からはそのインフラを利用し慶應IDを利用した“keiomobile2”というすでに他キャンパスで導入されている認証方式を用いた無線LANネットワークへの接続サービスを試験運用として開始した。また以前よりサービスをしている芝共立キャンパス内の各種サーバ類を移行するため、ブレードサーバ環境と仮想化ソフトウェアを導入し、既存の物理サーバで行っているサービスを仮想化環境に移行することを段階的にすすめている。

2012年夏には芝共立キャンパスのパソコン室環境を三田、日吉、信濃町、矢上キャンパスですでに導入しているITCシステムへの移行を予定しており、この整備を終えると他キャンパスのサービスレベルに大きく近づくことになる。

【ITC本部】

2009年度から2011年度においては、ネットワーク環境の整備・拡充や、共通認証システムのアプリケーション拡充、教研系／事務系サーバの仮想化、他部署のシステム開発支援などを中心に実施した。また、2011年3月11日の東日本大震災を受けて、一層のセキュリティ強化、事業継続性確保を意識しながら、効率的な管理・運用の実現に向けて事業を展開してきた。

〈2009年度〉

キャンパスネットワークシステムについては、IPv6対応や契約回線／バックアップ回線の見直しなど、信頼性と性能の向上、効率化を図った。

共通認証システム (keio.jp) については、各アプリケーションの一層の拡充や英語表記対応化を中心に事業を展開している。

ITCシステム関連では、地区間の認証ローミングを拡充させるなど、ネットワーク認証のさらなる利便性向上を図った。

クライアントサービスについては、新たなサイトライセンス契約ソフトウェアにMATLABを加え、教育研究活動の環境をさらに充実させた。また、契約している他のソフトウェアについても、資料の充実や最新情報の提供をはじめ、利用者を全面的にサポートする環境を構築している。

コンプライアンス面については、全塾を対象としたPCおよびソフトウェア資産調査を実施した。

事務系支援については、事務系サーバ仮想化のさらなる推進により、一層のTCO削減を図った。また、他部署のシステム開発に関して、仕様の検討や設計・構築の支援活動を実施してきた。

一貫教育校については、継続事業としてWeb、メールなどのホスティングサーバーの運用を行っているほか、各校の図書システム統合に向けたシステムの導入支援を行った。

塾員・塾友サービスとして提供している慶應オンラインについては、システムの仮想化を行っている。

〈2010年度〉

ネットワーク回線関係において、リモートキャンパスとの接続回線の充実化など、回線の冗長化と最適化を推進している。

keio.jp関連では、日吉・三田キャンパスにて「シラバスシステム」が稼動を開始したほか、出講希望エントリーシステムなど、学生部関連の対応アプリケーションが充実した。これにより、非常勤を含む教員のアクティベート率が高まることとなり、学生部と協力しながらアクティベートキーの配布を行うなど、学内における認証基盤としての重要性を高めることにつながった。また、教育支援システムについては、システム障害が発生したことに対し、ハードウェアのリプレースと、DBのチューニングを実施するなどの対応を行ったほか、ユーザーから指摘を受けていたインターフェースの改善を実施している。

コンプライアンス面では、2009年度より実施していたソフトウェアのライセンス監査を完了させた。IT資産管理については、コンプライアンスの向上のみならず、補助金獲得のための基礎数値として導入状況を把握しておく必要からも、体制整備を行うことの重要性を認識するに至っている。

事務系支援業務としては、通信教育部事務システム、健康診断システムなどの開発を実施した。

〈2011年度〉

ネットワーク関係においては、慶應情報スーパーハイウェイの第5期のリプレースを実施した。老朽化した機器のリプレースにより、安定したサービス提供の実現と、より高度なネットワーク利用への対応や、より効率的なネットワーク構築への最新技術の活用などを、今後充実させていきたいと考えている。また、キャンパス間ネットワークの回線契約を見直し、サービス内容の向上と費用削減を両立させながら、冗長化・最適化を推進している。

keio.jp関連では、学生部提供のアプリケーションの充実や、信濃町キャンパスにおける各種情報コンテンツの認証対応に伴い、教職員のアクティベート率が向上した。また、教育支援システムについては、学生部が提供する教員向けアプリケーションとのサービスメニューの整合を実施した。総合的なサービスシステムとしての「教育支援システム」と、授業遂行を支える「授業支援」というサブシステムの構造を名称においても採用し、よりトータルなサービスアプリケーション提供のための足がかりを築いた。

事務支援業務としては、事務用ファイルサーバーのリプレースを実施し、部門の共有領域拡大に向けた環境整備を行うと同時に、事業継続性向上を企図したバックアップ環境の一層の充実を図ることにより、安全性と信頼性を高めた。また、震災後の福島第一原発の事故による節電対策において、電力の見える化やIT機器の省電力化対応などを実施した。

|| 慶應義塾全体 ||

情報基盤整備

区分	細目	内容		
	ネットワーク図	巻末参照		
キャンパス間ネットワークおよび外部接続	対外接続回線整備	2009年度	SINET3接続回線増速（4×1GbE→10GbE）（3月）	
		2010年度	基幹ネットワークへの非常用アクセス回線整備（日吉、藤沢にフレッツ回線導入）（11月）	
			浦和共立キャンパスADSL回線開通（9月）	
			SINET3→SINET4切替（3月）	
		2011年度	BGPフルルート投入開始（9月）	
			基幹ネットワークへの非常用アクセス回線整備（全キャンパスにフレッツ回線導入）（11～12月）	
			大阪データセンタSINET接続回線開通（3月）	
		キャンパス間接続回線	2009年度	矢上－藤沢間バックアップ回線開通（5月）
				日吉－藤沢間バックアップ回線廃止（5月）
	三田－信濃町間、信濃町－矢上間10G回線開通（9月）			
	三田－日吉間主回線（8×1GbE, WDM）解約（9月）			
	日吉－矢上間SINETバックアップ経路追加（12月）			
	キャンパス間バックアップ回線更新、切替（1～2月）			
	キャンパス間旧バックアップ回線廃止（3月）			
	2010年度		三田－日吉間主回線開通（10GbE, DWDM）（3月）	
			三田－芝共立間接続二重化（11月）	
			新川崎タウンキャンパス接続二重化（10月）	
	2011年度		keio.jpデータセンタ回線更改（3月）	
			慶應情報スーパーハイウェイ（KISH）リプレース（8月）	
			キャンパス間基幹回線新設（矢上－湘南藤沢10G、信濃町－芝共立1G）（8月）	
			三田－芝共立間回線更改（5月）	
			キャンパス間バックアップ回線統合（8月）	
			三田キャンパス周辺拠点回線更改（4月）	
			日吉協生館－日吉西別館（IHKBS棟）間光ファイバ新設（9月）	
	鶴岡タウンキャンパス接続変更（4月）			
	各種サーバ	2009年度	義塾DNSサーバIPv6対応	
			ITC統合ストレージ導入	
教育研究用仮想化環境（日吉・矢上）構築				
2010年度		仮想化環境（日吉・矢上）節電対応		
		各種WebサーバのApache脆弱性対応		
2011年度		仮想化環境（各部署Webコンテンツ移行）		
認証基盤	keio.jp	2009年度	RADIUSサーバ仮想化	
			RADIUS Proxyサーバ運用開始	
			日本語別科生、特別短期留学生向けアクティベーションキー発行	
			常勤教員未アクティベーション者に対するキーの再配布	

区分	細目	内容	
		信濃町地区発行対象追加（看護師、臨時職員）	
		システム英語表記対応	
		2010年度 三田/日吉非常勤教員アクティベーションキー紙面配布対応	
	ITCシステム統合	2009年度	地区間認証ローミング機構の整備
		2010年度	秋学期入学者から受付開始
		2011年度	全利用対象者に対して提供開始
	無線LANシステム (Keiomobile2)	2010・2011年度	試験サービス 暗号化 (WPA2 Enterprise) 対応、個人証明書による認証 (802.1X)

情報環境利用サービス

区分	細目	内容	
ソフトウェアライセンス契約 (ライセンスプログラム, 全塾サイトライセンス)		Microsoft (AOL (Academic Open License), CA (Campus Agreement), SA (School Agreement)), Adobe CLP (Contractual Licensing Program), Mathematica, SAS, SPSS, AMOS, JMP, FAME, MATLAB, MathWorks, Kaspersky, Becky! Internet Mail, Easyシリーズなど	
ホスティング	ITCホスティングサービス	2009年度	ls.keio.ac.jpドメイン収容変更 sdm.keio.ac.jpドメイン収容変更
		2010年度	kbs.keio.ac.jpメール移行作業 (5月)
			bio.keio.ac.jp Web移行作業支援 (5月)
			elec.keio.ac.jp旧ホスティングからの移行準備 (5月～)
	2011年度	KBS各研究室Webサイト移行作業支援 (10月～)	
	ITCホスティング・ライトプラン	2009年度	サービス提供開始
ハウジング		学部・学科等のサーバを、空調・電源環境が整備されたITCサーバ室にて預かるサービス。サーバ自体の運用・管理は利用者が行う。ホスティングサービスで提供しているサービス以外の独自サービスを運用したい場合等に利用可能。	
イベント支援		コンサート中継支援 (日吉協生館での公開中継へのネットワーク貸出し) (2010/12/31)	
コンプライアンス		Adobe社ライセンス監査	
サービスアプリケーションの提供	keio.jp対応アプリケーション	2009年度	慶應メールスプール容量拡大 (1GB→2GB)
		2011年度	慶應メール：卒業生・修了生に対する利用機関延長措置 (2011/4/1～9/30)
			大学院業績データベース公開
			KLL助成金システム公開
			議事録管理システム：派遣職員対応
			ソフトウェアライセンス取得：Mathematica 8 for Students 追加
	塾員向けサービス	2009年度	メールサーバ迷惑メール対策
		2010年度	新慶應オンライン機器導入
次期システム開発、仮想化			

事務・経営情報支援

区分	細目	内容	
キャンパス間ネットワーク		5キャンパスに設置されたNW機器の運用・管理、キャンパス間接続はトンネル構成	
キャンパス内ネットワーク		DHCPでのクライアント運用、外部へのアクセス制限、イントラネット運用・管理	
基幹系システム	サーバ	データベース	学事、経理・管財、塾員、外部資金、信濃町経理、学総、保健管理、通信教育
		プロキシサーバ	5キャンパスに設置、HTTPと塾内研究・教育環境向けPOP、SMTP、IMAP、TELNET、FTP、SSH
		メールサーバ	adst.keio.ac.jpドメインのメールシステムの運用・管理
		ファイルサーバ	三田・日吉にて全事務部門の共有フォルダをDR構成にて分散管理、ホームディレクトリ
	業務用PC	運用	PCの機種選定およびソフトウェアの検証
		ヘルプデスク	職員からのQ/A対応、申請処理、故障端末の修理依頼、利用ガイドの作成、端末管理
情報系システム	仮想化サーバ	基幹系、メール、ファイルサーバ以外は、仮想化サーバに集約して管理	
他部署開発関連	案件の集約	他部署での開発案件の集約、仕様確認、開発業者との橋渡し	

keio.jp

区分	細目	内容
システム運用・管理	システム運用・管理	keio.jpシステムの運用・管理業務
	システム開発・改修	keio.jpシステムの開発、改修に係る業務
	回線確保・運用	認証連携用のセキュアな専用回線の確保およびその運用
データ管理	データ管理	ユーザ情報、アプリケーション情報の運用管理
	データ連携	教職員データ、学生データの受け取りとシステムへの投入、更新処理
アプリケーション管理	運用管理	各アプリケーションの運用および運用情報管理。システム停止情報等の掲示
	システム構成情報管理	各アプリケーションのシステム構成情報（認証連携部）の管理
アプリケーション開発	要件定義および開発	各部門からのアプリケーション開発要望のヒアリングと調停、要件定義および開発
ユーザサポート	ヘルプデスク	keio.jpシステムおよび同アプリケーションの問い合わせ対応等
	講習会等の開催	keio.jpシステムおよび同アプリケーションの講習会等の開催
塾内システムとの連携	認証連携、システム統合	塾内既存システムとの認証連携によるシームレスなアクセス環境の実現

その他

区分	細目	内 容	
電力問題・計画停電	2011年度	電力見える化 使用状況グラフ Web公開 (7/1～)	
		計画停電時のサービス提供について ITC Web掲載	
補助金	文部科学省私立大学等経常費補助金	2009年度 平成21年度文部科学省経常費補助金 (ICT活用調査)	
		2010年度	平成22年度私立大学高度情報化補助金活用調査
			平成22年度私立大学等経常費補助金特別補助対象事業に係る調査 (ICT活用教育研究支援)
	2011年度	平成23年度私立大学等経常費補助金特別補助に係る調査 (第2回調査分) 「社会人の受入れ環境整備への支援」	
	会計検査院実地監査	2011年度 平成20/21年度私立大学等経常費補助金 (5/23～25)	
	国際化拠点整備事業費補助金 (G30)	2009年度 「Web履修申告システム英語対応」、「keio.jpシステム英語対応」、「教育支援システム英語対応」	
2011年度 翻訳支援ツール「Trados」保守			
ソフトウェア資産管理		アセスメント	
		ソフトウェア利用状況調査	
		体制構築準備	
		Webによる周知 (啓蒙活動)	
セキュリティ	SSLサーバ証明書	2009年度 NII UPKI SSLサーバ証明書運用開始	
		2010年度 Verisign社 月単位有効期間証明書検証	
会議	ITC評議会	2009年度 5/15、12/4	
		2010年度 5/14、11/30	
		2011年度 5/19、12/2	
	ITC運営委員会	2009年度 5/12、6/18、7/23、9/28、10/27、11/27、1/26、3/25	
		2010年度 5/11、6/15、9/27、10/26、11/26、1/27	
		2011年度 5/16、6/17、7/22、9/26、10/25、11/28、1/27、3/27	
	ITC利用者協議会		各キャンパス開催
	一貫教育校・ITC連絡会議	2009年度 5/26、11/24	
		2010年度 7/1、10/20	
2011年度 6/27、11/15			
見学対応	2010年度	国立スポーツ科学センター見学対応	
		東京大学との意見交換会	
		河北省教育庁見学対応	
	2011年度	タイ、Thaksin大学コンピュータセンター見学対応	
塾外活動	私立大学情報教育協会	私立大学情報化投資額調査	
		私立大学情報環境調査	
		私立大学高度情報化補助金活用調査	
		私立大学教員の授業改善調査	
	大学情報サミット	所長懇談会、拡大幹事会、大学情報サミット大会	
		参加大学：法政大学、明治大学、立教大学、早稲田大学、慶應義塾大学	
	大学ICT推進協議会	大学ICT推進協議会設立準備委員会への参加：2010/7～ (萩野副所長) 通常総会：2011/5/28 年次大会：2011/12/7～9	

|| キャンパスネットワークシステム ||

情報基盤整備 (2012年3月31日現在)

キャンパス	区 分	内 容
三 田	教室設置PC	311、321、322、333、335、336授業時以外はオープン利用可能
	オープン利用PC	共用PC室、大学院校舎PCエリア、南校舎PCラウンジ、南館PCコーナー
	無線LAN	キャンパス内の屋内全域でユーザ認証、または、個人証明書による認証により利用可能 (IEEE802.11b/g/n)
	情報コンセント	教室・研究室・自習エリア等で接続可能、速度 (100Mbps/1Gbps) は建物による
	リモート接続	ダイヤルアップ23回線 (2011年3月終了)
	印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム、IPP印刷
		カラー28台 (大学院校舎14台、図書館1台、南館5台、南校舎5台、研究室棟3台)
大判印刷	共用PC室内に設置	
日 吉	教室設置PC	DB109、641、701、703、704、F01 (641を除き授業時以外はオープン利用可能)
	オープン利用PC	DB110、第7校舎ロビー、702、F11、F21、図書館、協生館
	無線LAN	キャンパス内でユーザ認証、または、個人証明書による認証により利用可能 (IEEE802.11a/b/g/n)
	情報コンセント	教室・研究室・自習エリア等で接続可能、速度 (100Mbps/1Gbps) はエリアによる
	印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム、IPP印刷
カラー22台 (第4校舎独立館3台、第6校舎2台、第7校舎6台、藤山記念館4台、図書館3台、協生館4台)		
信 濃 町	教室設置PC	孝養舎4 F 403・404教室
	オープン利用PC	新教育研究棟5 F 自習室B、第三校舎B 1 F・PC室、北里記念医学図書館棟1 F 閲覧室
	無線LAN	総合医科学研究棟1 F ラウンジ・2 F～9 F 各階会議室、孝養舎2 F～4 F、新教育研究棟4 F 自習室、第2校舎1 F 自習室・4 F セミナールーム、臨床研究棟1 F ラウンジ・2 F 第二会議室、3号館 (北棟) 1 F ラウンジ・B 1 F 会議室 (IEEE802.11g/a)
	情報コンセント	東校舎2 F 講堂、孝養舎2 F 自習室、北里記念医学図書館棟1 F 閲覧室、第2校舎2 F PBLルーム
	リモート接続	ダイヤルアップ23回線 (2011年3月終了)
	印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム、IPP印刷8台 (カラー/モノクロ共用)
矢 上	HPC	SMP4ノード、クラスター8ノードのハイブリッド型 (2011年5月終了)
	教室設置PC	11-11、12-107、12-109、14-B101、14-B102、14-B03、授業時以外はオープン利用可能 (12-109は除く)
	オープン利用PC	14-B107、23-319、14棟B 1 F オープンスペース、メディアセンターPCエリア
	無線LAN	キャンパス内の屋内全域でユーザ認証または、個人証明書による認証により利用可能 (IEEE802.11a/b/g/n)
	情報コンセント	教室、研究室、自習エリア等で利用可能、通信速度：1Gbps
	リモート接続	ダイヤルアップ23回線 (2011年4月終了)
	印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム、IPP印刷
		カラー：20台
大判印刷	14棟B 1 F 理工学ITC内設置	

キャンパス	区 分	内 容
湘南藤沢	教室設置PC	特別教室（情報処理演習用）：κ18、ε17、ι18、ο17、看護医療学部棟205教室 特別教室（3Dアニメーション実習用）：λ11 特別教室（デジタルビデオ編集用）：λ18 特別教室（音楽制作用）：λ21
	オープン利用PC	メディアセンター（図書館）1階 情報処理演習用PC（特別教室と同機） ワンストップPC（電子メールやWebなど短時間利用者向け） スキャナ専用PC（紙媒体ドキュメントの電子化用） 映像編集用PC 音楽制作用PC
	ノートPC利用推進	湘南藤沢キャンパスでは、学部生に対してノートPCの利用を推奨。実際にノートPCの使用を前提とした授業も行われており、推奨仕様の提示を毎年度実施。また、授業期間中は短期間でのノートPCの貸出しも実施。
	無線LAN	キャンパス内の校舎各棟および周辺のほぼ全域にてIEEE802.11a/b/g/nでの接続が可能
	情報コンセント	大学：8教室、メディアセンター 大学院：2、3階ロフト ほぼ全域すべてが1Gbpsで接続可
	リモート接続	VPN接続（SSL-VPN、L2TP-VPN、IPSEC-VPN） WiMAX接続（SFC Flatプラン）
	印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム（独自運用）、IPP印刷 カラー：6台、モノクロ：17台
	大判印刷	大学院棟に設置
芝 共 立	教室設置PC	MMPC室（授業・実習時以外はオープン利用可）、研究用共通PC室
	オープン利用PC	メディアセンター内PCエリア（2010.3より）
	無線LAN	802.11a/g エリア 利用可能場所：1号館（学生ホール、食堂、談話室）、2号館（460大講義室）、3号館（多目的ホール・体育館）
	情報コンセント	全講義室・会議室 通信速度：1Gbps（2011.8より）
	印刷環境	MMPC室 プリンタ数2台（Ridoc）、メディアセンター内PCエリア プリンタ数1台（Ridoc） 全て独自運用

研究・教育支援（2012年3月31日現在）

三田キャンパス

サービス	区分	種別	内容
ITCアカウント	UNIX+Windows		学部生・大学院生・通信教育部生・教職員・その他
三田ITC情報ネットワークアカウント	UNIX+Windows		2009～2010年度：学部生（2編/学士含む）・大学院生・特別学生・通信教育部生・教職員・その他 2011年度：その他（ゲストアカウントなど）
ネットワーク接続	無線LAN		認証：慶應ID、三田/日吉ITC情報ネットワークアカウント、ITCアカウント
	情報コンセント		認証：無線LANと同じ
	リモート接続		ダイヤルアップ接続認証：三田/日吉ITC情報ネットワークアカウント取得者（UNIX+Windows）（2011年3月終了）
ファイルサーバ	学生/教職員		ホームディレクトリ容量：500MB～1GB
電子メール	キャンパストメイン		2009年度：学士・大学院生・特別学生・通信教育部生（卒論指導済者）・教職員 2010年度：三田キャンパス大学院生・特別学生・通信教育部生（卒論指導済者）・教職員 2011年度：2010年度利用者のうち継続者のみ
Web	個人利用		対象：学部生・大学院生・通信教育部生・教職員・その他
			容量：ホームディレクトリ500MB～1GBの範囲内
印刷環境	オンデマンド印刷		対象：三田ITC情報ネットワークアカウントまたはITCアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコンから印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	IPP印刷		対象：三田ITC情報ネットワークアカウントまたはITCアカウントの取得者、個人所有のパソコンからインターネットやキャンパス内ネットワークを使っての印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	大判印刷		対象：慶應義塾大学公認学生団体に所属するサークルの学内掲示物・三田祭のポスターや展示作品
貸出PC	学生		対象：三田キャンパス学部生/大学院生（三田ITC情報ネットワークアカウントまたはITCアカウント取得者）
			貸出期間：7泊8日間（開講期）
			台数：130台
	教員		対象：三田キャンパスの専任教員、三田キャンパス内の研究室などに設置して利用
			台数：387台
ソフトウェア	学生		対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
			利用方法：パソコンを持参し、窓口にてインストール
	教職員		対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
			利用方法：窓口にてインストールメディアを貸し出す
遠隔会議・イベント対応			ネットワーク利用と遠隔会議システムのサポート
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口		受付時間：8:45～18:15（開講期）、8:45～17:00（休講期）
			申請内容：三田ITC情報ネットワークアカウントの照会・パスワード再発行、ITCアカウントの登録・ID照会・パスワード再発行、慶應IDの照会・アクティベーションキー再発行・パスワード再発行、パソコン貸出、ソフトウェア利用
	学生用ヘルプデスク		受付時間：9:00～18:00 利用相談コーナー/ホットライン
	教員用ヘルプデスク		受付時間：9:00～17:00（11:30～12:30除く）
広報			三田ITCWeb、新任教員対象：説明会・利用案内冊子、学生対象：アカウント取得ガイド配布

日吉キャンパス

サービス	区分	種別	内容
ITCアカウント	Unix+Windows		学部生・大学院生・通信教育部生・教職員・その他
日吉ITC情報ネットワークアカウント	UNIX+Windows		学生および教職員
	Windows		教職員、通信教育学部生（夏期スクーリング）
ネットワーク接続	無線LAN		keio.jpの慶應IDか三田ITC/日吉ITC情報ネットワークアカウント、ITCアカウントによる認証が必要。
	情報コンセント		認証については同じ
ファイルサーバ	学生/教職員		ホームディレクトリ容量：500MB～1GB
電子メール	キャンパストメイン		2007年度までに登録された利用者（学生および教職員）にメールアドレス（@hc.cc.keio.ac.jp）を付与し、2011年度まで運用
Web	個人利用		対象：学部生・大学院生・通信教育部生・教職員・その他
			容量：ホームディレクトリ500MB～1GBの範囲内
印刷環境	オンデマンド印刷		対象：日吉ITC情報ネットワークアカウントまたはITCアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコンから印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	IPP印刷		対象：日吉ITC情報ネットワークアカウントまたはITCアカウントの取得者、個人所有のパソコンからインターネットやキャンパス内ネットワークを使っての印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
貸出PC	学生		日吉ITC情報ネットワークアカウントまたはITCアカウント取得学生（通信生などを除く）が対象、貸出期間7泊8日（開講期）または21泊22日（休講期）、（120台）
	常勤教員		日吉キャンパス内の教員個室や研究室などに設置して利用、（272台）
ソフトウェア	学生		対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
			利用方法：パソコンを持参し、窓口にてインストール
	教職員		対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
			利用方法：窓口にてインストールメディアを貸し出す
遠隔会議・イベント対応			ネットワーク利用と遠隔会議システムのサポート
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口		受付時間：8:45～18:15（開講期）、8:45～17:15（休講期） 申請内容：日吉ITC情報ネットワークアカウントの照会・パスワード再発行、ITCアカウントの登録・ID照会・パスワード再発行、慶應IDの照会・アクティベーションキー再発行・パスワード再発行、パソコン貸出、ソフトウェア利用
		コンサルタントステーション	学生
	ヘルプデスク	教員	受付時間：9:30～17:30
利用説明会・ガイダンス			4月に学部新生を対象に利用者説明会を実施
広報			日吉ITCWeb、塾生案内（第4章を編集）

信濃町キャンパス

サービス	区分	種別	内容
ITCアカウント	Unix+Windows		学生・大学院生および教職員
信濃町ITC情報ネットワークアカウント	Unix		学生・大学院生および教職員
	Windows		学生・大学院生および教職員
ネットワーク接続	無線LAN		認証：情報ネットワークアカウント（ワークステーションシステム）
	公開情報コンセント		認証：情報ネットワークアカウント（ワークステーションシステム）
	信濃町キャンパス研究用共用ネットワーク		教員（研究室）対象、申請による機器のネットワーク接続
ファイルサーバ	ホームディレクトリ		容量：1,024MB
電子メール	キャンパストメイン		sc.itc.keio.ac.jp
Web	個人利用		http://web.sc.itc.keio.ac.jp/~ログイン名/、容量はホームの範囲内
印刷環境	オンデマンド印刷		対象：情報ネットワークアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコン・WSから印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
貸出PC	学生		対象：キャンパス所属学部・大学院生・薬学部実習生 貸出期間：7泊8日 台数：ノートPC70台、ネットブックPC60台
ソフトウェア			対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
			利用方法：窓口にてメディア貸出
遠隔会議・イベント対応	貸出		ビデオ会議装置（PCS-XG80、PCS-TL33）
	技術支援		医学部臨床実習開始前共用CBT試験、医学部総合医科学研究センター・リサーチパーク部門ネットワーク運用
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口		受付時間：平日9:00～16:30
			システム利用登録・照会・パスワード再発行、慶應IDの照会・アクティベーションキー再発行・パスワード再発行、パソコン貸出、ソフトウェアライセンス利用、情報コンセント工事、ネットワーク構築
	ヘルプデスク		平日9:15～20:45、土曜9:15～17:15
利用説明会・ガイダンス			医学部2年生、看護医療学部3年生、大学院医学研究科新入生、大学院健康マネジメント研究科新入生、大学病院助教（専修医）・新研修医、大学病院新任職員
広報			信濃町ITCWeb、利用ご案内、信濃町ITC Information

矢上キャンパス

サービス	区分	種別	内容
ITCアカウント	UNIX+Windows		対象：学部生・大学院生・特別学生・教職員・その他
理工学ITC情報ネットワーク利用アカウント	UNIX		対象：学部生・大学院生・教職員・その他
	HPC利用アカウント		対象：学部生・大学院生・教職員・その他（2011年5月終了）
ネットワーク接続	無線LAN		認証：慶應ID、理工学／日吉ITC情報ネットワークアカウント、ITCアカウント
	情報コンセント		無線LANと同じ
	リモート接続		ダイヤルアップ接続認証：理工学ITC情報ネットワークアカウント（2011年4月終了）
ファイルサーバ	学生／教職員		ホームディレクトリ容量：500MB～1GB、研究上の必要に応じて申請により増加可能
電子メール	キャンパストメイン		対象：理工学ITC情報ネットワークアカウント取得者（@educ.cc.keio.ac.jp）
Web	個人利用		対象：理工学ITC情報ネットワークアカウント取得者、ホームディレクトリ内に作成
印刷環境	オンデマンド印刷		対象：理工学／日吉ITC情報ネットワークアカウントまたはITCアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコンから印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	IPP印刷		対象：理工学／日吉ITC情報ネットワークアカウントまたはITCアカウントの取得者、個人所有のパソコンからインターネットやキャンパス内ネットワークを使つての印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	大判印刷		対象：学会発表、ポスターセッション等
貸出PC	授業用		授業単位、授業時間内のみ貸出、台数80台（教室設置PCと同仕様）
ソフトウェア			対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
			利用方法：インストールメディアの貸出またはパソコンを持参して窓口にてインストール
遠隔会議・イベント対応	利用者支援		遠隔会議システム機器利用サポート、学会・会議などネットワーク利用サポート
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口		受付時間：9:00～16:30 申請内容：理工学ITC情報ネットワークアカウントの登録・照会・パスワード再発行、ITCアカウントの登録・ID照会・パスワード再発行、慶應IDの照会・アクティベーションキー再発行・パスワード再発行、パソコン貸出、ソフトウェアライセンス利用
	ヘルプデスク		WS・PC利用サポート 9:00～20:00（開講期）、9:00～17:00（休講期）
利用説明会・ガイダンス	利用説明会		Matlabセミナー、LabVIEWセミナー（各年1回）
	ガイダンス		新任教員向けガイダンス、留学生向けガイダンス（年2回）
広報			理工学ITCWeb、学生用利用案内冊子（和文、英文）、矢上キャンパスIT利用バイブル

湘南藤沢キャンパス

サービス	区分	種別	内容
情報ネットワーク アカウント	CNS	CNSアカウント	取得資格： ・学部生・大学院生（総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科） ・教職員（湘南藤沢中・高等部を含む） ・非常勤講師 ・共同研究者 ・特別学生（聴講生、科目等履修生、研究生）
		CNSサブアカウント	取得資格： ・湘南藤沢キャンパス設置学部・研究科以外の学生（通信教育過程、外国語学校を除く） CNSアカウントとの相違点： ・@sfc.keio.ac.jpのメールアドレスが付与されるが、所属キャンパスで使用しているアドレスへの転送サービスのみ ・ホームディレクトリの容量は500MB ・メディアサーバの利用不可
	ERNS	ERNSアカウント	取得資格： ・政策・メディア研究科の大学院生 ・政策・メディア研究科の教職員
ネットワーク接続	CNS	無線LAN	利用資格：CNSアカウント取得者 機器登録認証：接続機器のMACアドレスをオンライン登録 個人証明書認証：個人証明書をオンラインにて発行し、証明書を接続端末にインストールしてIEEE802.1x認証設定
		情報コンセント	研究棟・講義棟をはじめ、ほぼすべての教室に設置されており、一部の教室には各自所有のノートPCを接続可能な数を配備
		リモート接続	VPN接続：SSL、L2TP、IPSEC WiMAX接続：モバイルWiMAX網を通じてCNS環境を利用、別途利用者が個別にWiMAX（SFC Flatプラン）契約が必要
	ERNS	無線LAN	大学院棟の共同研究室およびその周辺のエリアでは、ERNSのネットワークにIEEE802.11a/b/g/nでの無線LAN接続は可能
		情報コンセント	大学院棟の共同研究室には1Gbpsの情報コンセントが多数配備されており、利用申請があった場合に有効化を実施
		リモート接続	VPN接続：L2TP リモートデスクトップ接続
ファイルサーバ	CNS	ホームディレクトリ	容量：10GB（メールプール・個人用Web領域を含む）
		メディアサーバ	容量：全体で100TB 映像編集など大容量ファイルの一時保管用のためバックアップは取得しない
	ERNS	ホームディレクトリ	容量：制限なし
電子メール	CNS	アドレス	sfc.keio.ac.jp 学部生：命名ルールに基づきアドレス部を自動生成 大学院生・教職員：任意の文字列にて作成
		メーリングリスト	形式：エイリアス、QuickML（ドメイン部が@qml.sfc.keio.ac.jpとなる）、Majordomo 申請：Webからのオンライン申請
	ERNS	アドレス	mag.keio.ac.jp 大学院生・大学院教職員：任意の文字列にて作成
		メーリングリスト	形式：エイリアス、QuickML（ドメイン部が@qml.mag.keio.ac.jpとなる）、FML 申請：Webからのオンライン申請

サービス	区分	種別	内容
Web	CNS	個人用	ホームディレクトリの中で作成・公開が可能
		共用作業領域	教職員を申請者とし、サブドメインでのグループ管理が可能なWebスペース
印刷環境	CNS	オンデマンド印刷	対象：CNSアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコンから印刷要求し、印刷履歴より課金請求
		IPP印刷	対象：CNSアカウントの取得者、個人所有のパソコンからインターネットやキャンパス内ネットワークを使って印刷要求
	ERNS	ネットワークプリンタ	対象：ERNSアカウントの取得者、大学院棟共用端末および個人所有のパソコンからキャンパス内ネットワークを使って印刷要求
		大判印刷	対象：ERNSアカウントの取得者、大学院棟共用端末およびリモートデスクトップ接続から印刷要求
貸出PC	学生	対象：慶應義塾所属の学生・教職員 貸出期間：原則は当日返却で、翌日が窓口稼働日の場合は翌日返却可（キャンパス外持ち出し禁止） 台数55台	
	教員	対象：湘南藤沢キャンパスを本務とする常勤の教員	
ソフトウェア	学生	対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる 利用方法：パソコンを持参し、窓口にてインストール	
	教職員	対象：ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる 利用方法：窓口にてインストールメディアを貸出す	
遠隔会議・イベント対応	機器貸出	対象：申請者は教員とし、学生利用可（Webによるオンライン申請） 台数：4台	
	利用者支援	・ネットワーク利用と遠隔会議システムのサポート ・利用前日に貸出機器の操作説明を実施	
窓口・ヘルプデスク	ITC事務室	窓口	受付時間：月～金 9:15～17:00 ・CNS/ERNSにおける利用相談 ・CNS/ERNS各種申請受付
	CNSコンサルタント	ヘルプデスク	受付時間：月～金 9:20～22:30 ・CNSにおける利用相談 ・機器貸出（ノートPC、無線LANカード、DVDドライブ）
	ERNSアドバイザー	ヘルプデスク	受付時間：月～金 10:00～22:00 ・ERNSにおける利用相談 ・ERNS各種申請受付
利用説明会・ガイダンス	講習会		・CNSガイダンス（学部新入生に対し講義編、実習編を春学期・秋学期の年二回実施） ・ノートPC利用講習会（主に新入生対象） ・CNS/ERNSガイダンス（大学院新入生に対して講義形式で春学期・秋学期の年二回実施）
広報			湘南藤沢ITCWeb CNSガイド（新入生向けのガイドブックとして発行し、CNSガイダンス時に配布）

芝共立キャンパス

サービス	区分	種別	内容
情報ネットワークアカウント	SKC共通認証システムアカウント	Windows	学部・大学院生および教職員
ネットワーク接続	無線LAN		接続方法：ステルスSSIDでWEPキー対応 認証：慶應ID（2011.12より）
	情報コンセント		申請制で固定IPアドレス付与
ファイルサーバ	共有フォルダ	教職員	学生は USBメモリ等の外部記憶装置を利用
電子メール	キャンパスドメイン	教員	pha.keio.ac.jp
	慶應ID	学生	keio.jp
Web	教育支援	.Campus	教材配布やレポート収集等
		国試サーバ	薬剤師国家試験の過去問題検索システム
	施設管理	予約システム	教室、会議室の予約システム
印刷環境	オンデマンド印刷		対象：SKC共通認証システムアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコンから印刷要求、年間50ポイントまで出力可能。それ以上は、証紙にて課金印刷
	大判印刷		対象：学会発表、ポスターセッション等
貸出PC	薬学部所属の常勤教職員		授業や実習等で利用するための授業用貸出パソコンサービス（2010.6より）
ソフトウェア	ライセンス	メディア貸出	全塾ライセンス、キャンパスライセンス
遠隔会議・イベント対応	利用支援		遠隔授業や会議等における技術支援
窓口・ヘルプデスク	利用案内	受付時間	サービス時間 平日9:00～17:00
		各種申請	SKC共通認証システムアカウントの照会、パスワード変更 プリンタ枚数追加申請 ITCアカウントの照会（2011.4より）など
	利用相談・障害連絡	ホットライン	有
		メール受付	有
利用説明会・ガイダンス	講習会	利用案内	新学期ガイダンス時（2年生以上対象）
広報	Web		施設案内、利用案内、マニュアル、カレンダーなど
	マニュアル・ガイドブック		教員向けに「芝共立ITCのご案内」を作成

|| 一貫教育校支援 ||

慶應義塾は、小学校から高等学校までの一貫教育校を有する。幼稚舎、普通部、中等部、湘南藤沢中等部・高等部、高等学校、志木高等学校、女子高等学校について、三田、日吉、湘南藤沢の3キャンパスのITCにサポート体制を整備して、ネットワーク設備や教育用コンピュータ設備等の導入や環境構築、定期的な要員派遣やオンデマンドでのヘルプデスクによる支援を行っている。

一貫教育校の代表者とITC関係者が一堂に会する定期的な連絡会を、年2回開催し、活動報告、情報共有や情報交換を行っている。平成20年度以降、一貫教育校の情報環境の実情に関する調査を実施してきた。これを踏まえて、一貫教育校における生徒・児童の学習環境、ならびに、創造的教育を支える情報環境について、各校との連絡を密に取り、整備計画作成や環境整備に関する支援などを実施し、継続的に情報環境の向上が図れる仕組みづくりを検討している。

【三田ITC(志木高等学校、女子高等学校、中等部、幼稚舎、横浜初等部(開設準備室))】

三田ITCでは志木高等学校、女子高等学校、中等部、幼稚舎の4校に対するサポートを担当している。各校とも、それぞれの教育カリキュラムに連携した情報利用環境が用意されており、三田ITCでは、ネットワーク設備や教育用コンピュータ設備の導入や利用環境の構築、運用や障害発生時の現地対応を含めた支援、定期的な要員派遣やオンデマンドでのヘルプデスクによる利用支援を行っている。2009~2011年度に実施した支援のうち、主なものは下記のとおりである。また、2013年度開校予定である横浜初等部は開設されるまで三田キャンパスに開設準備室が置かれる関係からITC本部と三田ITCと共同で支援を行うことになった。

志木高等学校：2009年度には生徒用メールサーバの機器更新、一貫教育校図書システムの導入があり、これらに対する作業支援を行っている。また、会議室関連ネットワーク工事も行われ、現地調査や見積り取りの作業があったため、これに協力して当った。2010年度にはネットワーク機器更新が予定されていたため、前年度から要件作成・見積取得・現地調査を行い、2010年度にこれを実施した。志木高では2011年3月の東日本大震災の後、放射線測定機器を設置することとなり、これに係るネットワーク支援を行った。

女子高等学校：2009年度には一貫教育校図書システム導入とネットワーク機器の更新があり、これについての支援を行った。2010年度には、生徒用PC、認証サーバ、メールサーバの機器更新があり、これに対する要件作成から実施に至る一連の支援と、環境変更に伴うサーバ・ネットワークに関するヘルプ対応を行った。女子高では授業に数式作成ソフトMathematicaを利用しており、このライセンス更新作業の支援も行っている。

中等部：2009年度には高校同様に一貫教育校図書システムの導入が行われ、他校と同様の支援を行っている。2010年度にはネットワーク機器更新、教員用ノートPC更新、視聴覚教室改修・PC設置支援(ネットワーク工事見積・PC見積取得/導入支援)、体育館工事(ノード、情報コンセント、無線機器配置の調整)について要件作成から実施に至る一連の支援作業を行った。2011年度には、サーバ・PC室機器更新支援、ポプラ館3F光配線補修工事、英語科授業支援サーバ導入に関する支援を行うほか、Webフィルタリングソフトウェア導入についての相談を受けている。

幼稚舎：幼稚舎に対しては、週一度の要員派遣(2009、2010年度は金曜日、2011年度は月曜日)を行い、ドキュメント作成、セキュリティプログラムの適用、PCイメージ配布、ヘルプ対応(データ復旧、アプリケーション不具合修正など)等の支援を行っている。また、2010年度には情報教室のネットワーク構成の変更についての支援を行った。

横浜初等部(開設準備室)：広報用ウェブサーバの整備に対する支援と共に、幼稚舎を参考とした日常業務に関するヒアリングへの対応を行った。

【日吉ITC（普通部・高等学校）】

日吉ITCでは、歩いて10分ほどの普通部、および同じキャンパス内にある高等学校の2校の一貫教育校のサポートを担当している。両校とも各棟・フロア間ネットワーク機器導入時から初期設定および運用を行っており、パソコン・サーバーについては各校の担当者と連携して支援を行っている。

普通部：パソコン・サーバー環境の検証・変更、無線機器の調整等を現地およびリモートでメンテナンスを行っている。日吉ITCから距離が離れているため、サーバー機器障害等を迅速に対応するため、リモート対応できる環境を整備している。各年度始めはコンピュータ教室のパソコンのマスターイメージを作成し、年間を通じてサーバーおよびパソコン環境のソフトウェア環境を調整している。また、教室用パソコンのリプレースと新規にサーバーが導入され、業者へ見積依頼や移行のためのソフトウェアのセットアップを行った。

高等学校：日吉ITCのスタッフ1名が週に3回(半日2回と1日1回)現地に赴き、定期的に支援を行っている。最も多い支援内容はサーバーのメンテナンスであるが、サーバーおよびネットワーク機器のトラブル発生時などは、定期スケジュール以外でも現地に行き対応を行っている。2011年度にはコンピュータ教室等で大規模なパソコンのリプレースが行われ、見積・基本ソフトウェアのインストール等の支援を行った。

両校ともに支援内容は細かく多岐にわたっており大変なこともあるが、キャンパスとは違う技術を支援することで、大学・一貫教育校間の情報交換ができ、教育に適したIT環境を構築していけると考えている。

【湘南藤沢ITC（湘南藤沢中部部・高等部）】

湘南藤沢ITCでは、同じキャンパス内にある湘南藤沢中・高等部のサポートを担当している。同校は中高一貫教育校で、語学と情報リテラシーの教育に力を注いでおり、専任の技術スタッフが湘南藤沢中・高等部の教育用ネットワークシステムの管理・運用に当たっている。また、大学を含めたキャンパスネットワークのブランチとして、湘南藤沢ITCと連携してシステムの更新を行っている。

湘南藤沢中・高等部の技術スタッフは、湘南藤沢ITCにてキャンパスネットワークの管理・運用を行っているメンバーが複数名で勤務に当たっていることから、PC教室の効率的な運営や教員からの高度な要望についても柔軟に対応できる体制が整っている。

2010年度には、各種サーバ機器の更新をはじめとして、LL教室のPCを置き換えるなど、教室環境の高度化を図り、2011年度は、主に新棟（南校舎）の竣工に伴うネットワーク環境の整備と、既設棟を含めた無線LAN環境の更新を行った。

異文化交流と情報教育を柱とした湘南藤沢中・高等部の教育において、ネットワークシステムの管理や時代に即した情報インフラの高度化推進支援という側面から、その一端を担っていききたい。

|| サテライトキャンパス支援 ||

下記サテライトキャンパスについて、利用者からの問合せ対応をはじめとし、必要に応じて要員を派遣するなどのサポートをITC本部で行っている。

- ・新川崎タウンキャンパス（K2）
- ・鶴岡タウンキャンパス（TTCK）
- ・浦和共立キャンパス
- ・慶應大阪リバーサイドキャンパス（KORC）
- ・慶應丸の内シティキャンパス

■統計

||2009年度 (2010年3月31日現在)||

1. アカウント登録者数

学部生

区 分	情報ネットワークアカウント							合計
	三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
			UNIX	Windows				
文学部	2,543	3,477	0	4	0	0	0	6,024
経済学部	2,813	5,194	0	6	1	0	0	8,014
法学部	2,682	5,140	0	8	0	0	0	7,830
商学部	2,444	4,396	1	5	0	0	0	6,846
医学部	25	618	78	485	2	0	0	1,208
理工学部	176	4,264	2	3	980	0	0	5,425
総合政策学部	189	100	0	0	1	1,936	0	2,226
環境情報学部	93	94	0	0	1	1,889	0	2,077
看護医療学部	9	9	28	215	0	440	0	701
薬学部	2	433	0	1	0	0	861	1,297
合 計	10,976	23,725	109	727	985	4,265	861	41,648

大学院生

区 分	情報ネットワークアカウント							合計
	三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
			UNIX	Windows				
文学研究科	300	38	0	7	0	0	0	345
経済学研究科	81	9	0	0	0	1	0	91
法学研究科	196	20	1	2	0	0	0	219
社会学研究科	88	14	0	0	0	0	0	102
商学研究科	97	12	1	1	0	0	0	111
医学研究科	0	2	61	143	0	0	0	206
理工学研究科	67	1,122	1	3	286	1	0	1,480
政策・メディア研究科	63	18	2	5	0	495	0	583
健康マネジメント研究科	5	18	16	95	0	107	0	241
薬学研究科	3	1	0	3	0	0	229	236
経営管理研究科	28	236	0	2	0	1	0	267
システムデザイン・マネ ジメント研究科	71	126	0	0	0	2	0	199
メディアデザイン研究科	75	142	0	0	0	2	0	219
法務研究科	559	10	1	1	0	0	0	571
合 計	1,633	1,768	83	262	286	609	229	4,870

その他

区 分	情報ネットワークアカウント							合計
	三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
			UNIX	Windows				
特別学生	142	49	0	0	12	0	0	203
日本語別科生	181	11	0	0	1	0	0	193
学部研修生	0	28	0	0	0	0	0	28
通信教育部	147	44	0	0	0	2	0	193
教職員	1,081	945	756	587	72	0	115	3,556
その他	73	63	0	0	37	0	0	173
合 計	1,624	1,140	756	587	122	2	115	4,346

* 特別学生 (研究生・科目等履修生・特別聴講生・教職課程科目履修生・教職課程生他)

* 日本語別科生 (日本語研修課程)

* 通信教育部 (正科生・教職科目等履修生)

2. ITC管理PC・WS

教育用台数

キャンパス	Windows Mac	UNIX	計
三田	847	0	847
日吉	1,081	0	1,081
信濃町	247	2	249
矢上	469	283	752
湘南藤沢	539	0	539
芝共立	130	0	130
合 計	3,313	285	3,598

業務用台数

キャンパス	Windows
三田	892
日吉	216
信濃町	490
矢上	85
湘南藤沢	106
芝共立	43
合 計	1,832

3. PC室

キャンパス	室 数
三田	10
日吉	13
信濃町	4
矢上	7
湘南藤沢	8
芝共立	1
合 計	43

4. 無線LANアクセスポイント

キャンパス	ポイント数
三田	445
日吉	459
信濃町	21
矢上	241
湘南藤沢	218
芝共立	10
合 計	1,394

|| 2010年度 (2011年3月31日現在) ||

1. アカウント登録者数

学部生

区 分	情報ネットワークアカウント							合計
	三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
			UNIX	Windows				
文学部	2,541	3,500	0	4	0	0	0	6,045
経済学部	2,523	5,208	0	9	1	0	2	7,743
法学部	2,513	5,205	0	5	1	0	0	7,724
商学部	2,155	4,375	0	1	0	0	0	6,531
医学部	22	626	12	480	4	0	0	1,144
理工学部	123	4,200	0	3	864	0	0	5,190
総合政策学部	181	88	0	2	0	1,927	0	2,198
環境情報学部	91	80	0	0	1	1,921	0	2,093
看護医療学部	10	10	0	258	0	457	0	735
薬学部	7	643	0	65	0	0	1,238	1,953
合 計	10,166	23,935	12	827	871	4,305	1,240	41,356

大学院生

区 分	情報ネットワークアカウント							合計
	三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
			UNIX	Windows				
文学研究科	303	36	0	6	0	0	0	345
経済学研究科	92	13	0	1	0	1	0	107
法学研究科	209	21	0	1	0	0	1	232
社会学研究科	100	11	0	0	0	0	0	111
商学研究科	105	17	0	1	0	0	0	123
医学研究科	0	4	29	104	1	0	0	138
理工学研究科	63	1,163	0	2	176	3	0	1,407
政策・メディア研究科	69	18	0	4	1	512	0	604
健康マネジメント研究科	7	19	1	56	0	105	0	188
薬学研究科	1	0	0	1	0	0	60	62
経営管理研究科	21	243	0	0	0	1	0	265
システムデザイン・マネジメント研究科	25	173	0	0	0	1	0	199
メディアデザイン研究科	22	191	0	0	0	1	0	214
法務研究科	546	10	0	1	0	0	0	557
合 計	1,563	1,919	30	177	178	624	61	4,552

その他

区 分	情報ネットワークアカウント							合計
	三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
			UNIX	Windows				
特別学生	56	53	0	0	6	0	0	115
日本語別科生	39	6	0	0	3	1	0	49
学部研修生	0	1	0	0	0	0	0	1
通信教育部	159	49	0	0	0	4	0	212
教職員	1,167	982	611	643	17	0	106	3,526
その他	69	56	0	0	24	0	13	162
合 計	1,490	1,147	611	643	50	5	119	4,065

* 特別学生 (研究生・科目等履修生・特別聴講生・教職課程科目履修生・教職課程生他)

* 日本語別科生 (日本語研修課程)

* 通信教育部 (正科生・教職科目等履修生)

2. ITC管理PC・WS

教育用台数

キャンパス	Windows Mac	UNIX	計
三田	837	0	837
日吉	1,079	0	1,079
信濃町	299	0	299
矢上	469	283	752
湘南藤沢	554	0	554
芝共立	130	0	130
合 計	3,368	283	3,651

業務用台数

キャンパス	Windows
三田	803
日吉	215
信濃町	535
矢上	97
湘南藤沢	112
芝共立	46
合 計	1,808

3. PC室

キャンパス	室 数
三田	10
日吉	13
信濃町	4
矢上	7
湘南藤沢	8
芝共立	1
合 計	43

4. 無線LANアクセスポイント

キャンパス	ポイント数
三田	445
日吉	460
信濃町	32
矢上	265
湘南藤沢	250
芝共立	10
合 計	1,462

|| 2011年度 (2012年3月31日現在) ||

1. アカウント登録者数

学部生

区分	ITC アカウント	情報ネットワークアカウント							合計
		三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
				UNIX	Windows				
文学部	2,009	1,732	2,651	0	1	0	0	1	6,394
経済学部	2,976	1,405	3,992	0	5	2	0	4	8,384
法学部	2,933	1,335	3,927	0	2	1	0	1	8,199
商学部	2,469	1,182	3,331	0	0	0	0	1	6,983
医学部	383	16	524	1	379	0	0	0	1,303
理工学部	2,649	62	3,155	0	3	972	0	1	6,842
総合政策学部	87	92	54	0	1	0	1,875	0	2,109
環境情報学部	82	51	44	0	0	0	1,949	1	2,127
看護医療学部	117	7	5	0	120	0	446	0	695
薬学部	337	7	628	0	65	0	0	1,238	2,275
合計	14,042	5,889	18,311	1	576	975	4,270	1,247	45,311

大学院生

区分	ITC アカウント	情報ネットワークアカウント							合計
		三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
				UNIX	Windows				
文学研究科	184	185	16	0	3	0	0	0	388
経済学研究科	62	63	8	0	0	0	0	0	133
法学研究科	134	125	12	0	0	0	0	0	271
社会学研究科	59	67	7	0	0	0	0	0	133
商学研究科	70	64	10	0	1	0	0	0	145
医学研究科	53	0	2	5	66	0	0	0	126
理工学研究科	976	21	575	0	0	180	0	1	1,753
政策・メディア研究科	45	36	11	0	2	0	481	0	575
健康マネジメント研究科	54	3	6	0	9	0	95	1	168
薬学研究科	1	1	0	0	0	0	0	60	62
経営管理研究科	119	3	118	0	0	0	0	0	240
システムデザイン・マネ ジメント研究科	84	16	99	0	0	0	0	0	199
メディアデザイン研究科	110	10	104	0	0	0	0	0	224
法務研究科	366	314	6	0	0	0	0	0	686
合計	2,317	908	974	5	81	180	576	62	5,103

その他

区分	ITC アカウント	情報ネットワークアカウント							合計
		三田 ITC	日吉 ITC	信濃町ITC		理工学 ITC	湘南藤沢 ITC	芝共立 ITC	
				UNIX	Windows				
特別学生	68	0	0	0	0	4	11	0	83
日本語別科生	96	1	1	0	0	0	0	0	98
学部研修生	92	0	0	0	0	0	0	0	92
通信教育部	170	11	0	0	0	0	3	0	184
教職員	1,450	982	929	460	107	100	769	109	4,906
その他	97	61	27	0	0	0	395	28	608
合計	1,973	1,055	957	460	107	104	1,178	137	5,971

* 特別学生 (研究生・科目等履修生・特別聴講生・教職課程科目履修生・教職課程生他)

* 日本語別科生 (日本語研修課程)

* 通信教育部 (正科生・教職科目等履修生)

2. ITC管理PC・WS

教育用台数

キャンパス	Windows Mac	UNIX	計
三田	1,008	0	1,008
日吉	1,086	0	1,086
信濃町	299	0	299
矢上	469	315	784
湘南藤沢	560	0	560
芝共立	130	0	130
合 計	3,552	315	3,867

業務用台数

キャンパス	Windows
三田	893
日吉	212
信濃町	549
矢上	105
湘南藤沢	125
芝共立	44
合 計	1,928

3. PC室

キャンパス	室 数
三田	12
日吉	13
信濃町	4
矢上	8
湘南藤沢	8
芝共立	1
合 計	46

4. 無線LANアクセスポイント

キャンパス	ポイント数
三田	513
日吉	450
信濃町	38
矢上	274
湘南藤沢	294
芝共立	10
合 計	1,579